

稲穂

TOSUI

目次 CONTENTS

Angle (アングル)	井出茂太先生墓碑にて	牧内雪彦	表2
『稲穂』第15号の発刊にあたって	同窓会における「社会貢献活動」	佐々木康夫	2
『わたしの人生』	健康な寿命は音楽活動から	川越和代	4
『いま第一線』	新聞社運動部から見てきた大相撲とサツカー事情	桜井章夫	8
	患者と医療者のための私のミッション	柳澤昭浩	12
	子育ての先に射してきた光く仏像制作に巡り合えて	滝澤浩子	16
●フレッシュトーク 木村優也／児玉沙葵／矢澤知朗			20
『まだ夢の途中』	フレッシュトークのその先に	上柳和貴	26
●写真特集	写真でたどる飯田高校のいま／むかし		28
●55歳のつぶやき	高33回生 10人から		32
	人生100年への心構え	代田秀雄	36
	どうにかなる！スローライフでいいこう	竹村成彦	38
■今号の表紙作家	ガラスが内包するエネルギーに魅せられて	木下良輔	40
●平成29年度在京飯田高校同窓会・総会報告			41
	〈講演〉市制80周年を迎えた飯田市のいま	牧野光朗	42
	〈演奏会〉夢のあとさき／音楽で呼び覚まされる時間	木下岳文	46
	〈幹事団後日談〉32回生をつないできたもの、そしてこれから	西岡美由紀	48
	〈総会・懇親会・卒業回別記念写真〉		50
〔ふるさとの思い出〕	あの頃の思い出／蜂捕り物語	原俊夫	60
〔郷友会の思い出〕	魁龍団とは何だったのか	清水俊夫	64
●ラグビー班花園出場記念			66
	「W杯2019 出場を目指す！」	細田佳也×宮島裕之	72
	楳田球とともにあった頃	藤本敏文	74
〔まだまだ現役〕	傘寿の記念に観世能楽堂で「雲林院」を舞う	内藤良太	78
	川柳と道連れ／選歴から古希への道	宮下恭一	82
	人との出会いで音楽畑を転がって	市岡純治	86
●短文	牧内雪彦／奥村晃作／佐々木康夫／脇坂英文		88
◇俳句	小笠原啓峰／林璋／大原直		89
◇川柳	原俊夫／宮下恭一／下島明		90
	みんなの川柳（投稿作品より）		91
◇五行歌	下平紀代子		92

同期会便り	92
在京飯田高校同窓会役員	104
卒業回早見表	104
平成30年度同窓会・総会のご案内	105
協賛金報告	105
無料相談室案内	106
ホームページ案内	106
同窓会案内	106
編集後記	107

『稲穂（とうすい）』とは：
昭和16～18年に飯田中学で刊行されていた格調高い『稲穂學報』に因む。

表紙作品 木下良輔（高32回）
ムーンフライブラリー（月の図書館）
（H200×W150×D110mm）

私の作品の多くは、変色させた板ガラスを砕いて鑄造している。この作品は、1993年ころから制作を始めた「ブックシリーズ」の中の一つ。大鹿村の実家の裏山にある中央構造線城ノ腰露頭の土を持ち帰り、その土肌を鑄型に起こして、透明感のあるガラスに生かそうと試みたものだ。タイトルである「月の図書館」は作者の想像上の建物である。

裏表紙は「本を読むカラヘ」（箱縁は別開連記事 40ページ）

題字「稲穂」 高田墨山（高7回）